

# 安全に使用するための注意

## 安全上の注意

### ⚠ 危険

- 電池の⊕⊖の逆挿入は、絶対にしないでください。電池が漏液・発熱・破裂し、故障の原因となります。
- 付属の充電アダプターで充電を行う前に、リモコンに装着された電池が、当社指定の充電電池であるか必ず確認してください。当社指定以外の充電電池および1次電池(アルカリ電池・マンガン電池等)を装着して充電を行うと、電池が漏液・発熱・破裂し、故障の原因となります。特に未使用の1次電池を充電した場合、漏液・発熱・破裂などの発生率が高くなります。
- ニッケル水素電池の液が、誤って目に入った場合は、こすらず、ただちに水道水で充分洗浄し、すぐに医師の診断を受けてください。失明の原因となります。

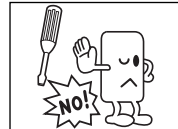
### ⚠ 警告



サイレンは、大音量のため、耳のそばで動作させたり、長時間試聴しないでください。耳に障害を与える恐れがあります。



動作を確認する際は、必ず車の外に出てから行ってください。また周囲に人がいないことを確認してください。ショックを与える恐れがあります。



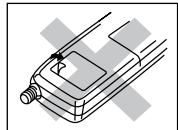
本体・振動センサー・エンジンスタートユニットのコネクター部にドライバー等の金属を接触させたり、異物を入れたりしないでください。内部でショートし、発火する恐れがあります。



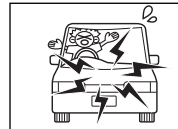
リモコンの電池を交換した際は、幼児の手の届かないところにおいて、早めに処分してください。万一口飲み込んでしまった場合やもれた液をなめたりした場合は、すぐにうがいをし、医師に相談してください。



人(特にお子様)やペットが車内にいるときは、絶対に警報機を動作させないでください。警報を発し、耳に障害を与える恐れがあります。



リモコンおよびアンテナユニット裏面のラベルを絶対に、はがさないでください。ラベルのないものを使用することは、法律で禁じられています。



警報機を動作させた状態で、運転しないでください。重大な事故の原因となります。



本品は、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けております。分解・改造することは、法律で禁じられていますので、絶対にしないでください。

- 心臓ペースメーカーなどの医療機器を使用している人は、必ず医師や医療機器製造者などへ相談の上、使用してください。また医療機器への影響を防止するため、病院内では必ずリモコンの電源をOFFにしてください。
- ニッケル水素電池の液が、誤って皮膚に付着した場合は、こすらず、ただちに水道水で充分洗浄してください。異常がある場合は、医師の診断を受けてください。

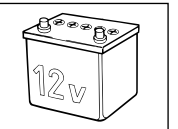
### ⚠ 注意



本品は、国産車専用です。並行輸入車・外国車へは、取り付けできません。



リモコンを落とし、硬い物にぶつけないでください。またアンテナは、引っばったり、曲げたりしないでください。故障の原因となります。



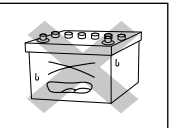
本品は、12V車専用です。24V車へは、取り付けできません。



動作確認で車に振動を与える場合は、強く叩きすぎてケガをしないように気をつけてください。またガラスやボディー等が、破損しないように充分注意してください。



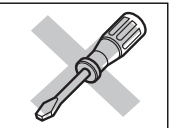
リモコンは、高温になる場所に放置しないでください。変形や変色・故障の原因となります。



車のバッテリーが弱っている場合や車本来の機能に不備がある場合は、正常に動作しないことがあります。



本品は、防水構造ではありません。水がかからないように注意してください。特に衣類のポケット等に入れたまま洗濯したり、水の中に落としたりしないでください。故障の原因となります。またエンジンルームの洗浄の際は、一旦サイレンを外してください。ショートし、火災・故障の原因となります。

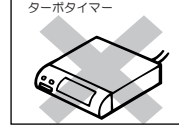


本品の分解・塗装・改造は絶対に行わないでください。火災・故障の原因となります。

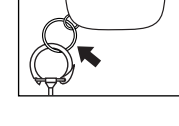
# 安全に使用するための注意

## 安全上の注意(つづき)

### ⚠ 注意(つづき)



他のエンジンスタートやターボタイマー・盗難警報装置との併用は、絶対にしないでください。故障や誤動作の原因となります。



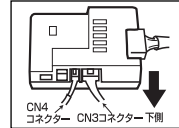
リモコン本体にキーホルダー等を取り付ける場合は、必ず付属のホルダーリングに取り付けてください。破損の原因となります。

- ヒューズを交換する際は、ヒューズ部が高温となって、火傷する恐れがあります。また使用中は、ヒューズ周辺の温度が上がります。
- リモコンが汚れた場合は、薄めた中性洗剤を布に染み込ませ、よく絞ってから拭き、乾いた布でもう一度拭いてください。ベンジン・シンナー等は、絶対に使用しないでください。変形や変色・故障の原因となります。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、すみやかに電池をリモコンから取り出してください。電池の漏液や錆の発生・電池の性能低下や寿命低下の原因となります。

### ⚠ 危険 V-10の場合

- 車にボディーカバー等を掛けた状態で、使用しないでください。火災の恐れがあります。
- リモコンでエンジンを始動するときは、車の近くに燃えやすい物がないことを確認してください。火災の恐れがあります。
- 密閉されたガレージ内では、使用しないでください。排気ガスが充満して危険です。
- 人(特にお子様)やペットが車内にいるときは、絶対にエンジンを始動しないでください。お子様やペットの思わぬ動きが、重大な事故の原因となります。
- ボンネットを開けるときは、本体のMODE2スイッチメニューの1「EGS/パワースイッチ」を切ってください。重大な事故の原因となります。

### ⚠ 警告 V-10の場合



- オプション品の取り付けで、エンジンスタートユニットのリッドを外した場合は、CN3、CN4のコネクター面が下を向くように固定してください。
- 「EGSシリーズ適用車種一覧表」の最新版で適用されている車へのみ取り付けできます。
- 斜面で使用する場合は、必ず輪止めをしてください。

### ⚠ 注意 V-10の場合

- 本品でエンジンをかけているときは、エアコン(ヒーター)以外のスイッチをOFFにしてください。リヤ熱線や大容量のオーディオ等を併用すると、本品のヒューズが切れることがあります。
- 暖気運転を行った直後に運行事前点検を行うと、火傷する恐れがあります。

## 使用上の注意

- 本品は、車両へのいたずらや盗難に対して警告・警報を発するものであり、車両盗難や車上狙い等を防止するものではありません。本品を取り付けたお車が、万一盗難やいたずら等の被害に遭われても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。また故障・誤動作等により警報機が使用できなかった場合の付随的保証についても、同様に当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 車から離れる際は、確実に施錠されたことを確認してください。
- 下記のような環境下で使用した場合は、警報を発することがあります。
  1. 強風・豪雨・雷雨・台風等の気象条件の場合。
  2. 地震が起きた場合。
  3. 線路付近・幹線道路沿い・工事現場付近・飛行場付近等の振動が発生する場所。
- 本品の近くで大出力の無線機等を使用されると、無線機の発する電磁波で、誤動作や不動作となる場合があります。
- 本品のリモコンの電波到達距離は、周囲の環境・アンテナユニットの設置状態・リモコンの取り扱いによって変化します。一般的に建物内や周囲に鉄筋コンクリートの建物があったり、高圧送電線や大出力の無線機等のノイズ発生源があったりすると、電波到達距離が短くなります。またアンテナやリモコンを手などで覆っても、同様に短くなります。
- 金属製のアクセサリー等によりリモコンを入れて使用すると、電波を通さないため通報を受信できません。
- エンジンキーや純正キーレスで施錠した場合、車両の持つセキュリティ機能が動き、本品のリモコンで解錠できなくなる車があります。その際は、リモコンで警報機を解除してから、エンジンキーまたは純正キーレスで解錠してください。
- 運転席ドアが施錠状態で他のドアが解錠状態のとき、リモコンで施錠操作を行っても、他のドアが施錠しない車があります。その際は、リモコンで解錠操作を行ってから施錠操作を行ってください。
- 運転席ドアが解錠状態で他のドアが施錠状態のとき、リモコンで解錠操作を行っても、他のドアが解錠しない車があります。その際は、リモコンで施錠操作を行ってから解錠操作を行ってください。